

## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月開催  
**基準日** 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して  
定めた日

**単元株式数** 100株

**株主名簿管理人および** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

**特別口座の口座管理機関** 住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲二丁目3番1号

**事務取扱場所** 住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(郵便物送付先)** 〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

**(電話照会先)** ☎ 0120-176-417

**(インターネットホームページURL)** <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

**公告方法** 当社のホームページに掲載する

<http://www.daidoh-limited.com/>

ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行う

**上場証券取引所** 東京証券取引所市場第一部

名古屋証券取引所市場第一部



## 株主の皆様へ

# 第88期報告書

2010年4月1日から2011年3月31日まで

**DAIDOH**  
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<http://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205



**DAIDOH**  
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室

〒101-8619

東京都千代田区外神田三丁目1番16号

TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051



謹んで震災のお見舞いを申し上げます

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。



取締役

安江 恵

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

私、安江 恵は、代表取締役の任を終え、次の世代へと経営を引き継ぐこととなりました。

これまで3年間に渡り、川西靖彦とともに経営の舵取りを担い、衣料事業・不動産賃貸事業とも経営効率化を目指した取り組みを推し進め、長期的な安定成長基盤の確立に努めてまいりました。

今後の経営の舵は、新たに代表取締役に就任いたしました田口 正幸が引き継ぎます。

これまでの株主の皆様のご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

田口 正幸

平素は格別のご高配を賜り、御礼申し上げます。

このたび、私、田口正幸は、安江恵前社長に代わり代表取締役に就任いたしました。

当社グループの一層の躍進を実現し、株主の皆様のご期待に添えるよう川西靖彦とともに全力を尽くす所存でございますので、今後ともよろしくご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当社グループは、厳しい事業環境に対応するための業務改革と、グローバル企業としての躍進を目指した取り組みを推し進めております。当連結会計年度は純利益を増加させることができ、経営効率化への取り組みの成果が見えてまいりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役副社長

川西 靖彦

## 「グローバル企業への進化」と「付加価値の拡大」を推し進め、さらなる経営効率化を図ります。

### 当期の 営業の概況

当連結会計年度（以下、当期）の事業環境は、緩やかながら回復の兆しが見られましたが、依然として雇用・所得環境は厳しい状況で推移いたしました。

また、東日本を中心に震災の影響による経済活動の停滞があり、国内景気と個人消費の先行きは不透明な状況にあります。

繊維・衣料業界につきましては、百貨店の売上高が前年を上回る月が出てくるなど明るい兆しが見られるようになっておりましたが、消費者の生活防衛意識は強く、消費マインドの改善にはいたらず引き続き厳しい状況下にあります。

このような環境のなか、当期累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は266億68百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は727百万円（同43.9%増）、組織再編費用238百万円を計上し、経常利益は461百万円（同18.0%減）、組織再編にともない繰延税金資産を1,233百万円計上した結果、当期純利益420百万円（前期は当期純利益29百万円）となりました。

### 業務改革の 進捗状況

中国工場におきましては、縫製ラインの馬鞍山シフトと生産量に応じた適切な人員配置を行い、効率化のためのシステム構築を進めております。

衣料品販売部門では、適正な在庫状況を維持することで売上総利益率の改善を図り、不採算店舗の撤退や経費の削減を実行し、経営の効率化を推進しております。

不動産賃貸事業につきましては、当社グループ内に分散していた経営資源を集約して効率化を図るため、組織再編を実施いたしました。

これらの結果、当期における売上総利益率は前年同期比0.6ポイント向上し51.8%となり、営業利益の増加に繋げることができました。

### 中期経営計画 の進捗状況

中期経営計画の2年目である当期は、既存事業の効率化を行いながら、当社グループの強みを活かした新規事業をスタートしております。

現在進めている各種業務の効率化のための「業務改革」では、システム構築の段階から、今年本格導入に移行いたします。このシステムを活用して、中国内および日中間の製造から販売までの業務効率化・省力化を実行してまいります。

「グローバル企業への進化」を目指した取り組みでは、高品質な素材を活用した衣料製品の販売を強化しており、具体的な施策として、スーツを中心としたオーダーメイドビジネスを「ニューヨーカー」などで拡充しております。その一環として、プライダルウェア「ユミカツラ パーソナルオーダー フォーメン」の受注を開始いたしました。今後は、国内での拡充や中国市場も視野にいれて展開してまいります。

また、中国においては、中国で最高級品を製造し販売するという考えのもと、工場直販のオーダースーツのファクトリーブランド「ミリオンクラブ」の店舗展開を開始いたしました。上海地区にすでに3店舗をオープンし、今後も拡充してまいります。

中国における事業展開は、新たに設立した大都利美特（中国）投資有限公司を中国における本部として位置付け、効率向上・レベルの高度化を図ってまいります。

不動産賃貸事業では、経営資源を集約したことで管理・運営の効率化を行い、包括的な事業戦略を進めております。引き続き一層の効率化を図り、収益性の改善により企業価値を高めていくことを目指します。

今後も中長期の視点を持った経営を重視し、信頼を高められるよう、企業価値の向上を図ってまいります。

事業コラボレーション



株式会社ユミカツラインターナショナル  
YUMI KATSURAブランドと  
サブライセンス契約を締結し、  
“YUMI KATSURA Personal Order”  
の事業をスタートいたしました。

当社は、2011年2月より、“YUMI KATSURA Personal Order”  
において新郎タキシードウエアを中心とした、パーソナルオーダーによる  
フォーマルウエアの製造を担っております。当社の、素材から製品  
までの一貫生産体制に加え、パーソナルオーダーに関する独自のシ  
ステム構築・物流システムなどの総合力を十分に発揮し、マニファ  
クチャーとして“YUMI KATSURA”ブランドの更なる事業発展に  
寄与してまいります。



“YUMI KATSURA Personal Order”では「品位と洗練」を  
基本イメージとし、伝統的なブリティッシュスタイルの“ESTABLISH”と、  
今日的でスタイリッシュな“ADVANCE”の、2ラインを展開しております。

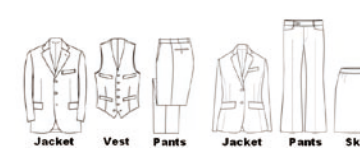
ウエアは12ディテールと17カラーの生地素材、ベストやタイなどのVゾーンは4ディテ  
ール・8デザインと20カラーの生地素材から選択でき、晴の日に“カスタマイズされた自分  
だけの一着”を装うことができます。  
また、挙式後はゲストウエアとして活用できるようリメイクシステムを導入しており、付加  
価値や利便性もプラスしております。



リメイクシステムとは ウエアの着丈のカットを行うことにより、ゲストウエアとして着用いただけるようリメイクするシステムです。

詳しくは、桂由美ブライダルハウスのページをご覧ください。▶ <http://www.katsura-yumi.co.jp/trial/mens/index.html>

中国事業展開



2010年9月、中国 上海において、  
“MILLION CLUB (ミリオンクラブ)”を  
正式オープンいたしました。

当社は、四半世紀にわたる中国との繋がりを足がかりに、昨年9  
月より新たに中国における“MILLION CLUB”の事業をスタートさせま  
した。2010年9月の1号店 (Red Town店) に続き、2011年4月に  
は2号店 (松江旗艦店) もオープンしております。

今後も最高品質の製品を送り出し、中国との共存共栄を続けるこ  
とを目指してまいります。

1号店  
(Red Town店)\*



2号店  
(松江旗艦店)



\*正式名称は、MILLION CLUB (The Suit Studio) Red Town Store

「リラックスしながらオーダースーツを選んでいただく」  
をテーマに、お客様一人ひとりのための  
スーツ製造ガイドラインを総力で整えております。

Just Fitスーツは、クラシカル×モダンの4モデルをライン  
ナップの主軸とし、レギュラーラインとハンドメイドラインの2  
シリーズ、計128サイズを展開。婦人スーツもご用意して  
おります。

- 1 羊毛からの糸づくり、織物、そして製品に仕上げるまでの、世界でも  
稀な高級品の一貫生産体制。
- 2 当社のマニファクチャリングを熟知したスタッフが、工場直送の織  
物を吟味し、お客様にフィットしたオーダーメイドのスーツをご提供。
- 3 「Good looking (流行の先端)」「Comfortable (着心地の良さ)」「  
Durability (型くずれしない丈夫さ)」の三拍子が揃ったスーツには、  
長年蓄積した当社の技術が集結。

最新情報につきましては、中国語ブログをご覧ください。▶ <http://blog.sina.com.cn/worsted>



“DAILY INTIMACIES” &  
“THE CITY WOMAN”



大人の余裕漂うデザイン・心地良いゆとりを感じる素材・普遍性・安心感・・・今シーズンは『DAILY INTIMACIES ～くつろぎの日々～』をテーマに、快適で機能的なスタイルをご提案いたします。

春夏向け天然素材のモヘアを中心とした高級クールコンフォートスーツをはじめ、防シワ加工、花粉ガード加工など機能性に優れたアウターも登場。吟味した原料からの「一貫生産」という強みを活かした、品位のあるニューヨーカーオリジナル素材をお楽しみいただけます。

Spring & Summer Collection

Men's



Spring & Summer Collection

Women's

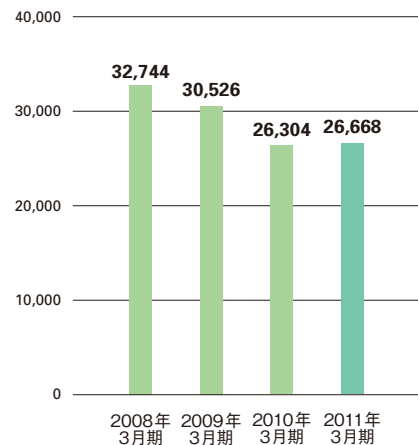
今シーズンのテーマは『THE CITY WOMAN ～新しい時代の女性たちへ～』。しなやかに凛々しく、大人でありながらかわいい、そんな新しい時代の女性にむけて、現代的に軽く柔かくアレンジしたコンサバスタイルに、ポジティブマインドを盛り上げるカラーをのせてご提案いたします。

「一貫生産」によるオリジナル素材の中でも、特にウールファブリックは糸からこだわり作られたニューヨーカーならではの品質でオリジナリティあふれるコレクションです。今シーズンは、ウォッシュャブル、透湿防水、体温調整機能、防シワなどの機能を積極的に取り入れ、快適に着用していただけのアイテムとなっています。

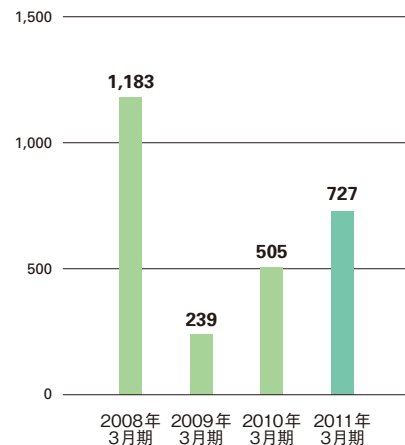


(特に記載のない限り2011年3月31日現在の状況です。)

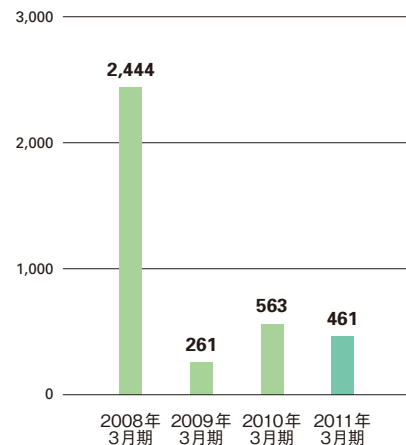
売上高 (単位: 百万円)



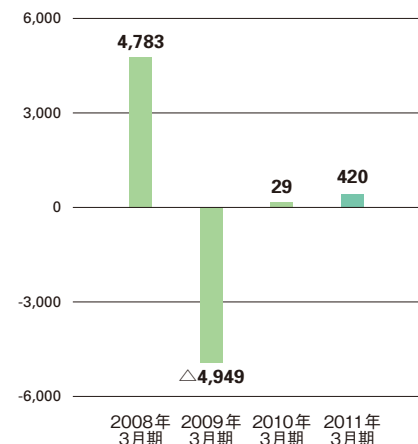
営業利益 (単位: 百万円)



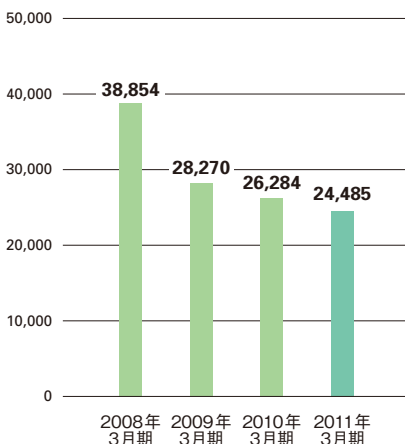
経常利益 (単位: 百万円)



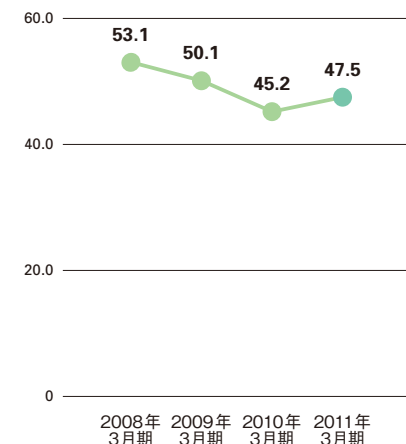
当期純利益 (単位: 百万円)



純資産 (単位: 百万円)



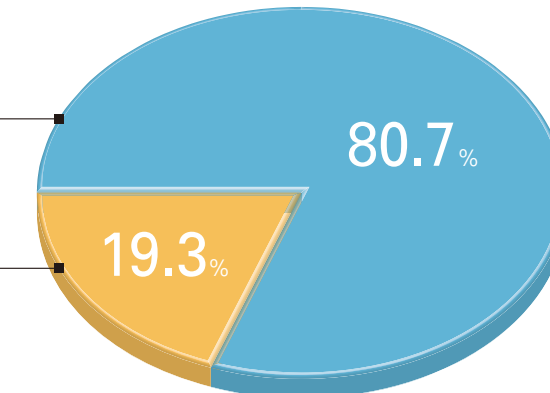
自己資本比率 (単位: パーセント)



衣料事業

原材料(織物・糸)の販売は、原料高の製品安という状況が続いており、中国工場における受託加工売上を含めて純外部売上は2,002百万円と非常に厳しい状況となりました。OEM(取引先ブランド製造卸)は順調に推移し売上が増加いたしました。株式会社ニュー Yorkerを中心とする小売販売につきましては、3月

11日の東日本大震災により春夏物の立ち上がりである3月の売上が大きく減少いたしました。効率化による経費の削減にも努めましたが、業務委託管理手数料722百万円の負担もあり営業損失となりました。以上の結果、売上高は21,736百万円、セグメント損失(営業損失)は688百万円となりました。



不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、小田原商業施設のSCの売上は概ね堅調に推移いたしました。オフィス賃貸につきましては非常に厳しい環境下であり、賃料の改定もあり大きく売上が減少いたしました。以上の結果、売上高は5,198百万円、セグメント利益は1,164百万円となりました。

(注) 1. 当期より、事業セグメントを変更しております(事業の関連性がより高まったことを受けて、従来の「衣料原料事業」と「衣料製品事業」を統合し「衣料事業」に変更)。  
2. 売上高構成比は、セグメント間の内部売上高を含む金額で算出しております(合計額26,934百万円を分母として算出)。

連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

	前期末	当期末	増減額		前期末	当期末	増減額
	2010年3月31日現在	2011年3月31日現在			2010年3月31日現在	2011年3月31日現在	
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
<b>流動資産</b>	19,911	15,228	△ 4,683	<b>流動負債</b>	16,658	10,524	△ 6,134
現金及び預金	6,481	5,540	△ 941	支払手形及び買掛金	1,758	2,089	331
受取手形及び売掛金	2,891	3,141	250	短期借入金	9,820	3,830	△ 5,990
有価証券	5,017	-	△ 5,017	長期借入金(1年以内)	1,625	1,000	△ 625
たな卸資産	4,318	4,724	406	その他	3,454	3,602	148
繰延税金資産	437	776	339	<b>固定負債</b>	14,670	16,143	1,473
その他	796	1,108	312	長期借入金	4,000	7,000	3,000
貸倒引当金	△ 32	△ 62	△ 30	長期預り保証金	9,005	7,643	△ 1,362
<b>固定資産</b>	37,702	35,924	△ 1,778	繰延税金負債	434	53	△ 381
有形固定資産	15,674	14,078	△ 1,596	その他	1,230	1,445	215
無形固定資産	372	771	399	<b>負債合計</b>	31,329	26,667	△ 4,662
投資その他の資産	21,656	21,075	△ 581	<b>純資産の部</b>			
投資有価証券	19,242	18,574	△ 668	<b>株主資本</b>	26,530	25,531	△ 999
繰延税金資産	430	711	281	資本金	6,891	6,891	-
その他	2,213	2,006	△ 207	資本剰余金	8,746	8,689	△ 57
貸倒引当金	△ 229	△ 217	12	利益剰余金	14,529	13,453	△ 1,076
				自己株式	△ 3,637	△ 3,503	134
				<b>その他の包括利益累計額</b>	△ 469	△ 1,251	△ 782
				その他有価証券評価差額金	△ 733	△ 999	△ 266
				為替換算調整勘定	263	△ 251	△ 514
				<b>新株予約権</b>	130	120	△ 10
				<b>少数株主持分</b>	92	83	△ 9
<b>1 資産合計</b>	57,613	51,153	△ 6,460	<b>3 純資産合計</b>	26,284	24,485	△ 1,799
				<b>負債純資産合計</b>	57,613	51,153	△ 6,460

1 資産合計/当期末の資産合計は前期末に比べ64億60百万円減の511億53百万円となりました。これは主に、前期まで保有していた有価証券が償還により50億17百万円減少したこと、主に減価償却の実施により有形固定資産が15億96百万円減少したことなどによります。

2 負債合計/負債合計は前期末に比べ46億62百万円減の266億67百万円となりました。長短借入金は36億15百万円減少しております。また、短期借入金40億円を長期借入金に借換えいたしました。

3 純資産合計/純資産合計は前期に比べ17億99百万円減の244億85百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少、その他の包括利益累計額(従来の評価・換算差額等)の減少などによります。

連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

	前期	当期	増減額
	2009年4月1日~2010年3月31日	2010年4月1日~2011年3月31日	
売上高	26,304	26,668	364
売上原価	12,840	12,865	25
<b>売上総利益</b>	<b>13,463</b>	<b>13,802</b>	<b>339</b>
販売費及び一般管理費	12,957	13,075	118
<b>営業利益</b>	<b>505</b>	<b>727</b>	<b>222</b>
営業外収益	864	779	△ 85
営業外費用	807	1,045	238
<b>経常利益</b>	<b>563</b>	<b>461</b>	<b>△ 102</b>
特別利益	395	47	△ 348
特別損失	532	897	365
<b>税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)</b>	<b>426</b>	<b>△ 388</b>	<b>△ 814</b>
法人税、住民税及び事業税	264	203	△ 61
法人税等調整額	133	△ 1,001	△ 1,134
少数株主損益調整前当期純利益	-	409	409
少数株主損失(△)	△ 0	△ 10	△ 10
<b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>	<b>29</b>	<b>420</b>	<b>391</b>

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

	前期	当期	増減額
	2009年4月1日~2010年3月31日	2010年4月1日~2011年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,770	494	△ 3,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,717	3,735	5,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,817	△ 5,198	△ 7,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 18	27	45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,851	△ 941	△ 4,792
現金及び現金同等物の期首残高	2,630	6,481	3,851
現金及び現金同等物の期末残高	6,481	5,540	△ 941

連結株主資本等変動計算書(要旨)

単位:百万円

	前期	当期
	2009年4月1日~2010年3月31日	2010年4月1日~2011年3月31日
<b>株主資本</b>		
資本金		
前期末残高	6,891	6,891
当期末残高	6,891	6,891
資本剰余金		
前期末残高	8,765	8,746
当期変動額		
自己株式の処分	△ 18	△ 57
当期変動額合計	△ 18	△ 57
当期末残高	8,746	8,689
<b>利益剰余金</b>		
前期末残高	16,015	14,529
当期変動額		
剰余金の配当	△ 1,514	△ 1,496
当期純利益	29	420
その他	△ 1	-
当期変動額合計	△ 1,486	△ 1,075
当期末残高	14,529	13,453
<b>自己株式</b>		
前期末残高	△ 3,101	△ 3,637
当期変動額		
自己株式の処分	37	134
自己株式の取得	△ 572	△ 0
当期変動額合計	△ 535	134
当期末残高	△ 3,637	△ 3,503
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	28,570	26,530
当期変動額		
剰余金の配当	△ 1,514	△ 1,496
当期純利益	29	420
自己株式の処分	18	76
自己株式の取得	△ 572	△ 0
その他	△ 1	-
当期変動額合計	△ 2,040	△ 998
当期末残高	26,530	25,531
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金		
為替換算調整勘定		
<b>新株予約権</b>		
少数株主持分		
<b>純資産合計</b>		
前期末残高	28,270	26,284
当期変動額		
剰余金の配当	△ 1,514	△ 1,496
当期純利益	29	420
自己株式の処分	18	76
自己株式の取得	△ 572	△ 0
その他	△ 1	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	53	△ 800
当期変動額合計	△ 1,986	△ 1,798
当期末残高	26,284	24,485

\*: 上の連結株主資本等変動計算書には、その他の包括利益累計額、新株予約権、少数株主持分の変動内容を掲載していません。これら未掲載の変動内容はすべて「株主資本以外の項目の変動額」であり、前期末残高、当期変動額、当期末残高は、P9の連結貸借対照表に記載の通りです。

貸借対照表(要旨)

単位:百万円

	当期末 2011年3月31日現在	当期末 2011年3月31日現在	
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>5,867</b>	<b>流動負債</b>	<b>8,279</b>
現金及び預金	3,301	支払手形	691
受取手形	401	短期借入金	3,830
その他	2,170	長期借入金(1年以内)	1,000
貸倒引当金	△ 5	その他	2,755
<b>固定資産</b>	<b>32,108</b>	<b>固定負債</b>	<b>7,802</b>
有形固定資産	250	長期借入金	7,000
無形固定資産	198	その他	802
投資その他の資産	31,660	<b>負債合計</b>	<b>16,082</b>
投資有価証券	30,462	<b>純資産の部</b>	
繰延税金資産	530	<b>株主資本</b>	<b>22,785</b>
その他	856	資本金	6,891
貸倒引当金	△ 189	資本剰余金	8,689
		利益剰余金	10,707
		自己株式	△ 3,503
		評価・換算差額等	△ 1,012
		その他有価証券評価差額金	△ 1,012
		新株予約権	120
		<b>純資産合計</b>	<b>21,894</b>
<b>資産合計</b>	<b>37,976</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>37,976</b>

損益計算書(要旨)

単位:百万円

	当期 2010年4月1日~ 2011年3月31日
<b>営業収益</b>	<b>1,949</b>
販売費及び一般管理費	1,604
<b>営業利益</b>	<b>345</b>
営業外収益	677
営業外費用	256
<b>経常利益</b>	<b>766</b>
特別利益	38
特別損失	647
<b>税引前当期純利益</b>	<b>157</b>
法人税、住民税及び事業税	7
法人税等調整額	△ 73
<b>当期純利益</b>	<b>222</b>

事業活動と  
主要なグループ会社

当社グループの連結子会社は13社、持分法適用関連会社は1社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して『お客様第一』『品質本位』の基本を共有して事業運営に当たっております。



※当社は2010年4月1日付で純粋持株会社体制に移行いたしました。その一環として、株式会社ダイドーインターナショナルへの株式会社ダイナシティの吸収合併などを実施いたしました。

衣料事業

**製造**

- 大同利美特(上海)有限公司 (DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)
- 大同佳楽登(馬鞍山)有限公司 (DAIDOH JARDIN (MAANSHAN) CO., LTD.)
- 大同利美特時裝(上海)有限公司 (DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)
- 大同利美特染整(上海)有限公司 (DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)

**販売**

- 株式会社ニューヨーカー  
上海纽约服装销售有限公司 (SHANGHAI NEWYORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)
- 愛雅仕商貿(北京)有限公司 (ARNYS TRADING (BEIJING) CO., LTD.)
- 株式会社ダイドーインターナショナル
- 大同利美特商貿(上海)有限公司 (DAIDOH INTERNATIONAL (SHANGHAI) CO., LTD.)
- ※2011年6月1日付で、芭貝(上海)毛線編結有限公司から社名変更いたしました。
- \*株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン

NEWYORKER

Brooks Brothers

**貿易**

- 大同利美特貿易(上海)有限公司 (DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.)

\* = 持分法適用関連会社

不動産賃貸事業

株式会社ダイナシティ

Dynacity

統括及び管理会社

- 大同利美特(上海)管理有限公司 (DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) MANAGEMENT CO., LTD.)
- 大都利美特(中国)投資有限公司 (DAIDOH LIMITED (CHINA) HOLDINGS CO., LTD.)

(注)中国事業の効率化などを目的として、大都利美特(中国)投資有限公司を設立いたしました。

(特に記載のない限り2011年3月31日現在の状況です。)

(注)単体の財務諸表におきましては、株主資本等変動計算書の掲載を割愛しております。

(特に記載のない限り2011年3月31日現在の状況です。)

会社概要

株式会社 ダイドーリミテッド  
DAIDOH LIMITED

創 業 1879年(明治12年)1月  
設 立 1949年(昭和24年)10月17日  
資 本 金 6,891,851,938円

■ 主要な事業所  
本社 東京都千代田区外神田三丁目1番16号

■ 従業員の状況  
株式会社ダイドーリミテッド 74名  
企業集団の合計 1,797名

■ 取締役および監査役 (2011年6月29日現在)

代表取締役社長 田口正幸  
代表取締役副社長 川西靖彦  
取締役 安江恵  
取締役上席執行役員 和賀勇  
取締役上席執行役員 大川伸  
取締役執行役員 村尾勤  
取締役執行役員 戸澤かない  
監査役(常勤) 林玄  
監査役(弁護士) 田口哲朗  
監査役(弁護士) 武田昌邦

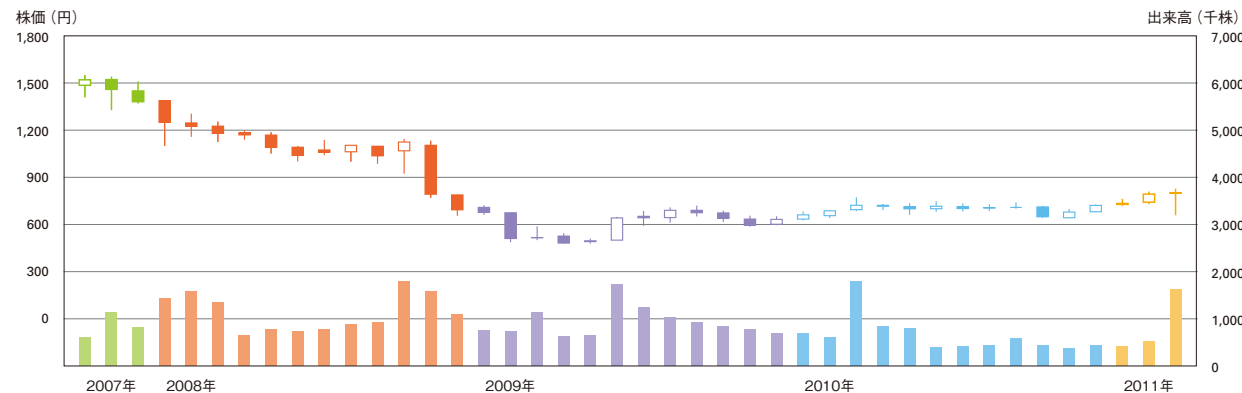
(注) 田口哲朗、武田昌邦の両氏は、社外監査役であります。

■ 主な借入先

借入先	借入金残高
住友信託銀行株式会社	3,130百万円
株式会社みずほコーポレート銀行	2,930百万円
株式会社三井住友銀行	1,770百万円

(注) 上記には株式会社みずほコーポレート銀行を幹事とする9行の総額4,000百万円のシンジケートローンは含まれておりません。

■ 株価の推移グラフ



株式の状況

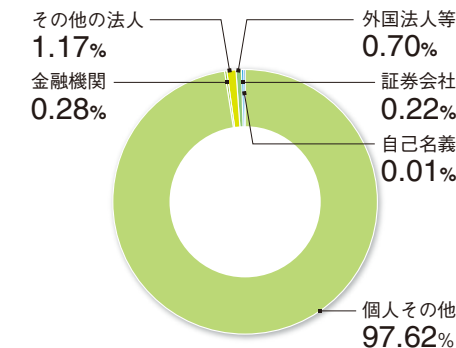
■ 発行可能株式総数 150,000,000株  
■ 発行済株式の総数(自己株式を含む) 37,696,897株  
■ 株主数 11,101名 (前期末 10,260名)

■ 大株主

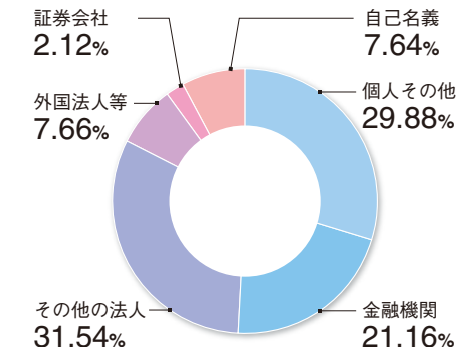
株主名	所有株式数(百株)
株式会社オンワードホールディングス	66,000
三井住友海上火災保険株式会社	18,457
株式会社ソトー	12,500
JP MORGAN CHASE BANK 380084	11,970
住友信託銀行株式会社	11,340
株式会社みずほコーポレート銀行	11,283
明治安田生命保険相互会社	9,310
栗原株式会社	5,878
ダイドーリミテッド取引先持株会	5,630
野村證券株式会社	5,290

(注) 当社所有の自己株式(3,216,412株)は、上記大株主からは除外しております。

■ 所有者別株主数分布



■ 所有者別株式数分布



\*本報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。